

# シメプレビル剤併用療法の紹介

新しいC型肝炎治療薬「シメプレビル」は2013年12月に発売となりました。

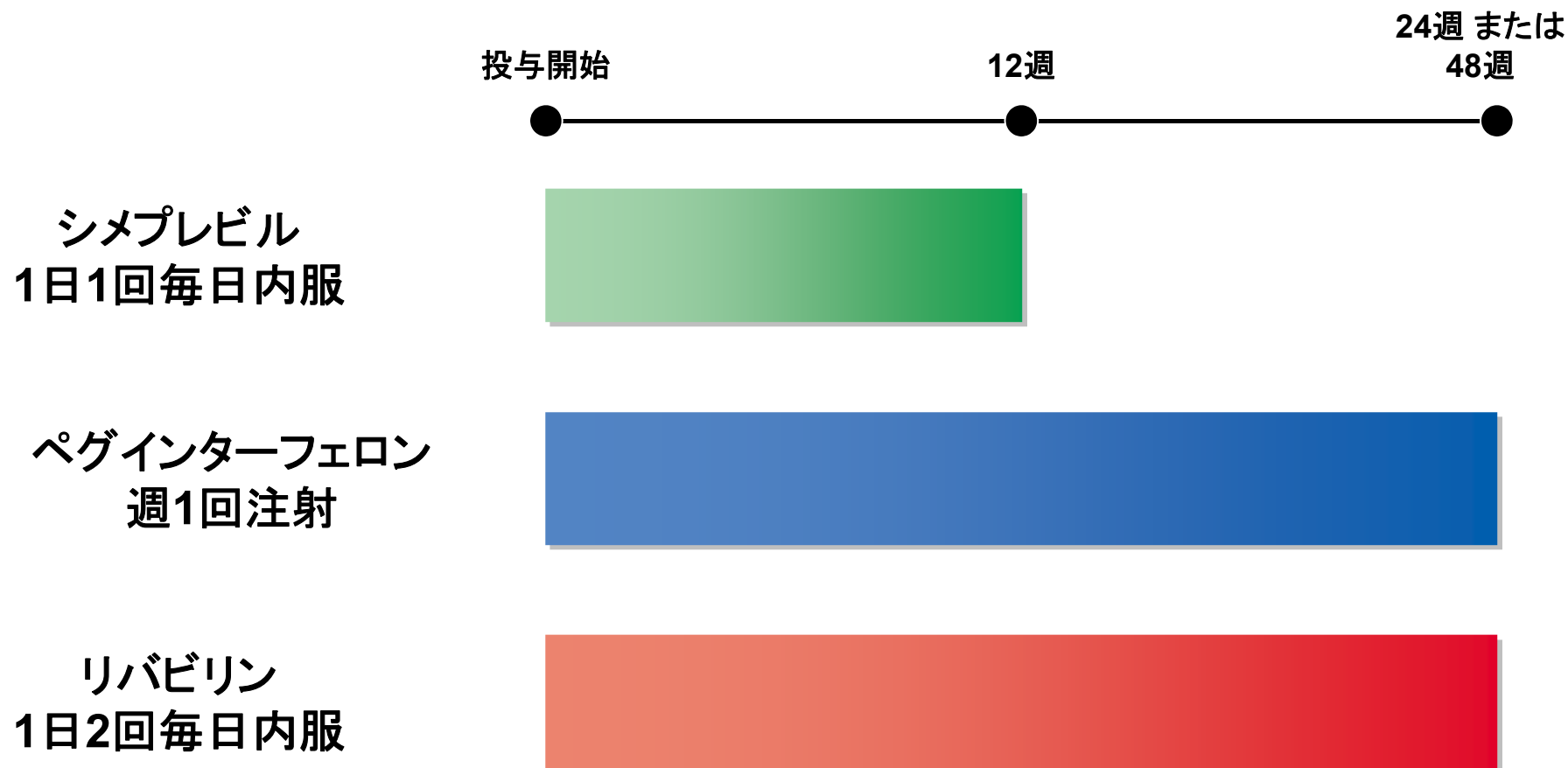
従来のペグインターロンとリバビリンの24週間または48週間投与に加えて、シメプレビル12週間の3剤併用で投与されます。

## 適応

セログループ1のC型慢性肝炎の方。

- 1) 血中C型肝炎ウイルス量が高値で未治療の方
- 2) インターフェロンを含む治療を以前に行い治らなかった方  
(テラプレビルを含む3剤併用療法失敗例でも使用可能)

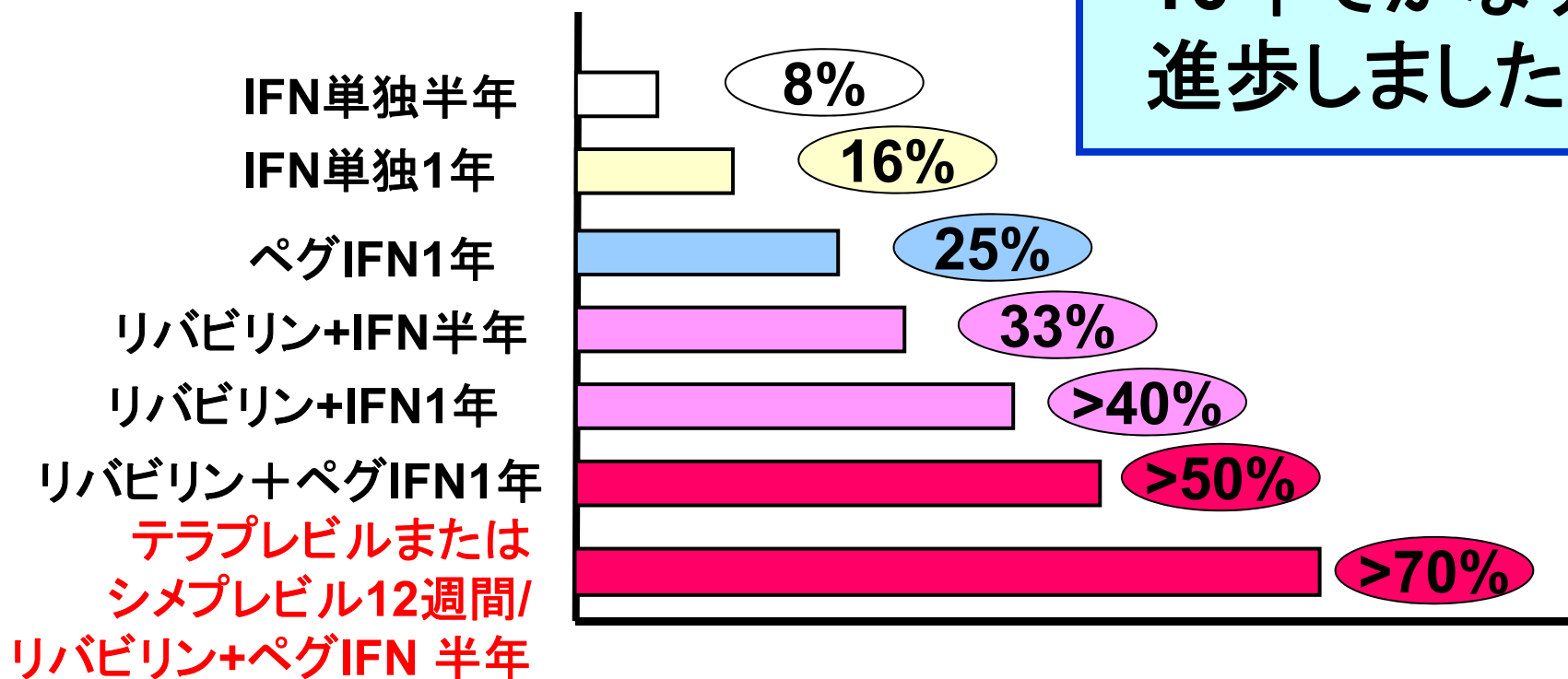
# シメプレビル剤併用療法の投与スケジュール



# IFN難治例(1型抗ウィルス量)の治療

- 新しいIFNの登場
- リバビリンの登場
- NS3阻害剤の登場

10年でかなり  
進歩しました



IFN:インターフェロン

# C型肝炎ウイルス(HCV)の歴史

検査	治療
1989	
1989	
1990	
1991	
1992	
1994	
1995	
1997	
1998	
2000	
2001	
2003	
2004	
2005	
2006	
2007	
2009	
2011	
2013	

Chiron社によるHCVの発見

HCV genotype(ウイルスの型)

第二世代HCV抗体の測定

HCV RNA定量(実験)

HCV DNA probe法

Serotype(ウイルスの型)

HCVアンプリコアモニター法

HCVコア抗原

HCVアンプリコア定性

HCVハイレンジ法

HCVリアルタイム

C型肝炎に対するインターフェロン(IFN)認可

2月IFN再投与認可

2月IFN長期、12月IFN- $\alpha$ con1、IFN- $\alpha$ 2b+リバビリン(RBV)認可

12月PegIFN- $\alpha$ 2a 認可

12月PegIFN- $\alpha$ 2b+RBV認可

4月IFN- $\alpha$ 自己注射認可

4月IFN- $\beta$ 肝硬変での使用認可

3月PegIFN- $\alpha$ 2a+RBV認可

10月IFN- $\beta$ +RBV認可

7月PEGIFN- $\alpha$ +RBV肝硬変、11月PEGIFN- $\alpha$ 2b+RBV+TPV認可

9月PEGIFN- $\alpha$ +RBV+SMV認可

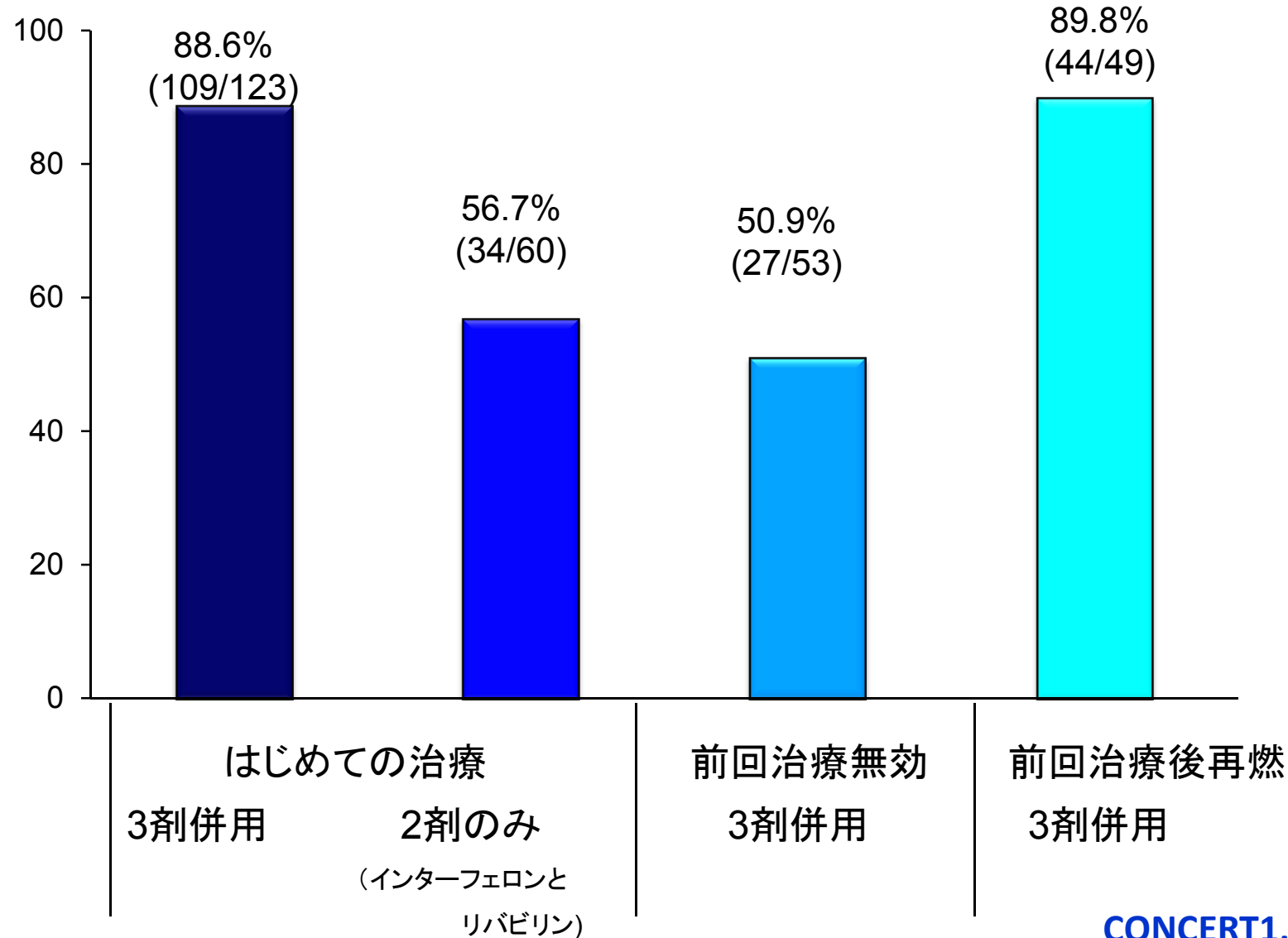
TPV:テラプレビル SMV:シメプレビル

# テラプレビル併用3剤併用療法との違い

	テラプレビル	シメプレビル
内服回数	1日3回	1日1回
食事の影響	受ける	受けない
併用IFN	IFN $\alpha$ 2bのみ	IFN $\alpha$ 2a, 2bとも可
副作用	多い	IFN+リバビリンの2剤療法と変わらない
使用可能施設	限定	制限なし
併用禁忌・ 注意薬	多い	少ない
その他		テラプレビルによる3剤治療失敗例でも使用可

# シメプレビル併用療法の成績

C型肝炎が  
治った割合(%)



CONCERT1,2,3より

# シメプレビル併用療法の副作用

CONCERT1より

	シメプレビル併用 123人	通常治療(2剤) 60人
白血球数減少	78人(63.4%)	41人(68.3%)
発熱	75人(61.0%)	31人(51.7%)
貧血	70人(56.9%)	36人(60.0%)
血小板数減少	60人(48.8%)	23人(38.3%)
発疹	57人(46.3%)	37人(61.7%)
頭痛	54人(43.9%)	27人(45.0%)
倦怠感	52人(42.3%)	28人(46.7%)
脱毛	44人(35.8%)	28人(46.7%)

従来のペグインターフェロンとリバビリンによる  
2剤の治療と比べて、副作用はほぼ同等です